

1 基本的な操作の流れ

(1)不動産取引状況のグラフ表示

物件位置を表示
もしくは市区町村を指定します。

「状況」ボタンをクリック後、「不動産取引価格状況」を選択

取引種類を指定すると、種類毎の取引状況を切替表示

市区町村の過去4年間の取引状況をグラフ化

「建物・土地」の取引状況

「マンション」の取引状況

「土地」の取引状況

「農地」の取引状況

「林地」の取引状況

「拡大表示」ボタン

四半期後、半期ごと、年毎、年単位毎の集計に切り替えられます

用途地域別、規模別などのグラフに切り替えられます

個別のグラフを拡大できます

用途地域別の価格推移

・円グラフ表示切替種類(取引種類により切り替えられる分類が決まります。)
土地種別(V3で追加)、用途地域別、土地形状、規模別、築年別、構造別

・折れ線グラフ表示切替種類(取引種類により切り替えられる分類が決まります。)
単線、土地種別(V3で追加)、用途地域別、土地形状、規模別、築年別、構造別

・箱ひげ図、散布図の切替はありません。

(2)物件類似や期間指定等の検索

「全県指定や期間指定、各種検索」ボタンをクリック

類似物件のグラフ化対象条件の指定

類似の物件や期間を指定して取引状況を確認します。種類を選択して、対象とする条件を指定してください。

条件指定画面、取引種類毎に切り替わります。

条件を満足する取引データをグラフ化します。

「データ表示(表)」ボタンをクリック

個別のグラフを拡大します。

一覧表が表示されます。検索結果をCSVファイルに保存することもできます。

検索画面は取引種類毎のタブを切り替えて、条件を指定して対象取引を絞り込むことができます。

条件は、対象地区、面積、取引価格、最寄り駅、駅距離、用途地域、構造、築年、間取り、土地種類、複数市区町村、全県指定(V3で追加)などです。また、期間を指定できます。

取引状況を特定の期間だけ知りたい場合は、期間指定だけ行って実施ボタンをクリックします。

